

9月13日(木)、青森工業高等学校都市環境科の1年生を対象に青森港のみなと見学会を開催しました。

本見学会は、高校生を対象に、将来にわたる公共工事の品質確保とその担い手の育成を目指して、ものづくりの魅力や社会資本整備の重要性への理解を深めてもらうことを目的として開催されています。

事務所内で行われた講演では、当事務所職員から、港湾の役割や港湾工事の概要、青森港の役割について説明したほか、(一社)日本埋立浚渫協会から、みらい建設工業(株)の技術者に来ていただき、実際に現場で働く方々から港湾土木の魅力とやりがいについて説明していただきました。

港湾業務艇「つがる」による港内見学では、港内をまわりながら青森港の利用状況などを説明したほか、防波堤に上陸し、防波堤の構造やケーソンの製作から据付けまでの工事の概要を説明しました。

見学会に参加した高校生の皆さんは、土木の勉強を始めたばかりで、卒業後の進路をイメージしている生徒は少ないのではないかと思います。今回の見学会によって少しでも「みなと」に興味をもっていただき、卒業後の進路を決める際に港湾に関わる仕事を一つの選択肢として考えていただければと思います。



▲講演の様子



▲埋浚協会からの説明



▲港湾業務艇内で青森港の利用状況説明



▲防波堤に上陸し説明を受ける高校生



▲スリット構造の防波堤をのぞき込む高校生



▲防波堤上で記念撮影